

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午後、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害な**カレニア・ミキモトイが最高で4,400cells/ml、シャットネラ属が5,400cells/ml**確認されました。

カレニア・ミキモトイ、シャットネラ属ともに湾内の広範囲で漁業被害が想定される密度を大きく超えています。

今後も増殖・拡大が想定されますので、**餌止めなど慎重な養殖管理**をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査地点	水深	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属
鳴無	1m	0	1,900
	2m	100	4,300
中学校前	1m	4,400	2,300
	1.5m	300	3,400
目ノクソ	1m	1,500	800
	1.5m	500	2,700
光松	1m	1,200	5,400
	1.5m	2,200	900
大鹿	1.5m	300	3,200
	2m	500	1,700
水試小割前	1m	13	18
	2m	40	80

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml～(餌食いの悪化)

